
第16回 日本水大賞
2014 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第16回日本水大賞「大賞」を受賞された岐阜市水防協会の皆様、「国際貢献賞」を受賞されたソムニードの皆様、「未来開拓賞」を受賞された大垣養老高等学校食品化学班の皆様、並びに2014日本ストックホルム青少年水大賞「優秀賞」を受賞された岐阜高等学校自然科学部生物班の皆様に、心からお祝い申し上げます。

岐阜市水防協会は、専任水防団としては全国有数の規模を誇り、昭和36年4月の設立以来、昭和51年の「9.12豪雨災害」をはじめとする幾度もの未曾有の水害に果敢に立ち向かい、水害から地域住民の生命と財産を守ってこられました。また、次世代を担う若年層への水防思想の普及啓発活動として、地域の小中学校への水防工法などの講師派遣や水防団活動の体験指導などに熱心に取り組み、地域防災力の維持・向上にも尽力してこられました。これらの取り組みは、本県が確かな安全・安心の社会づくりを進めるうえでも意義深いものであり、大変ありがたく存じております。

その他3団体の活動は、いずれも環境教育としての模範になるものと高く評価されたと受け止めています。また、1県で4団体が同時に受賞するのは初めてのことであり、今後の取り組みの大きな励みになるものです。

岐阜県では、全県民が心をひとつにして「清流の国ぎふ」づくりを進めていくとの意を込め「清流の国ぎふ憲章」を定めていますが、受賞された各団体の活動は、その憲章に定める「知」「創」「伝」につながるものであり、今後ますますご活躍されることを期待するとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉とします。

平成26年6月17日
岐阜県知事 古田 肇

祝 辞

第16回日本水大賞「国土交通大臣賞」を受賞された『袋川をはぐくむ会』の皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この度の受賞は、鳥取城の外堀としての役割も果たしていた「袋川」が、都市化の影響などによりゴミやヘドロが溜まるなど水辺環境が悪化していたことから、会の皆様が中心となって流域の商店街や町内会などと協力して長年にわたり清掃活動や美化活動に尽力され、さらには環境改善へ向けた「袋川再生への提言」など、地域に親しまれる川づくりに大いに貢献されたことが高く評価されたものと思います。

近年では、袋川を素材とした桜フォトコンテストの開催、こいのぼりの川渡し、カヌー体験など、地域住民が集い安らぐ空間の創出に積極的に関与されるとともに、平成25年度には鳥取市で開催された緑化フェアに合わせ、袋川河川敷地をコスモスの花で埋め尽くす花いっぱい運動を行政と一体となって実施され、パートナー県政を実践していただいているところです。

こうした中で、皆様がこのような栄えある賞を受賞されたことは、鳥取県としても大変喜ばしく、今後このような取り組みがさらに各地に広がることを期待しています。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が益々発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成26年6月17日
鳥取県知事 平井 伸治

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第16回日本水大賞において環境大臣賞を受賞されました「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」の皆様へ、心からお祝いを申し上げます。

今回の受賞は「猪苗代湖の水質日本一復活」をめざす会員の皆様の継続的な水質保全活動と美しいふるさとへの熱い思いが評価されたものと、心より深く敬意を表するものであります。

猪苗代湖の水質は、ここ数年、徐々にではありますが、改善の兆しが現れており、これは、会員の皆様による漂着水草回収等の活動によるものと感じております。

猪苗代湖は福島県民の宝であり「復興のシンボル」であると考えております。

活動の輪は東日本大震災以降も広がり続け、平成21年の活動開始以降5年間で6千人を超える方々が猪苗代湖の水質保全活動に力を合わせてくださっていることは大変心強い限りです。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
福島県知事 佐藤 雄平

祝 辞

第16回日本水大賞「厚生労働大臣賞」を受賞されました「肥後の水とみどりの愛護基金」の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

「肥後の水とみどりの愛護基金」の皆様は、熊本地域約100万人の水道水源である地下水の保全活動を30年近く行ってこれ、このたび新たに地下水保全の重要性を認識してもらうことを目的として、熊本の地下水のメカニズムを分かりやすく映像化した啓発資料を制作されました。このことが環境教育の模範となるものとして高く評価されたと受け止めています。

熊本県では、この3月（平成26年3月）には、熊本県、熊本地域の11市町村、事業者や団体等の方々と共にくまもと地下会議において、熊本地域の地下水保全の今後の指針となる「くまもとの地下水を守り抜くための対策～8つの提言」を取りまとめました。さらに、その提言を踏まえた熊本地域の地下水保全に関わる「第2期行動計画」を11市町村と共に策定し、地下水の恵みあふれる「水の国くまもと」を100年後の未来へ守り継ぐため、県民、市町村、事業者等と協働して、計画的に取り組んでいるところです。

今回受賞された皆様の取り組みは「水の国くまもと」に資するものであり、今後ますますご活躍されることを期待するとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
熊本県知事 蒲島 郁夫

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第16回日本水大賞「農林水産大臣賞」を受賞されました長野県白田高等学校 グリーンライフ科 農業クラブの皆様、誠におめでとうございます。

皆様は、県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている「オオアカウキクサ」の生息環境の調査を行い、その保護と農業利用に関する研究に取り組まれてきました。また、自然生態系の保全に関する連携を目的に地元集落と協定を結び、地域と協働して水環境保全活動も実施されています。このような長年積み重ねてきたクラブ活動の研究成果が、中山間地農業の発展に寄与するものと高く評価されましたことは、大変意義深く、心から敬意を表します。

今、長野県は、昨年スタートした総合5ヵ年計画「しあわせ信州創造プラン」に基づき良好な水環境と豊かな自然環境を未来へと引き継げるよう、県民参加による環境保全活動を推進しており、地域の将来を担う皆様の活動をととても頼もしく感じております。

最後に、皆様のご努力に敬意を表しますとともに、今後ますますご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成26年6月17日
長野県知事 阿部 守一

祝 辞

「第16回日本水大賞」において文部科学大臣賞を受賞された東筑紫学園高等学校理科部の皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今回の受賞は、理科部の先輩方、そして皆さんが、21年もの長きにわたり、日本で唯一存在するカルスト内の湿原として貴重な自然環境である「平尾台広谷湿原」の成因・変化・再生について調査研究を精力的に行うとともに、本県が開催する自然観察会で講師をされるなど、湿原を保全することの意義を多くの人に発信していることが高く評価されたものと考えます。

湿原の再生活動では、本県の保健環境研究所などの関係機関と連携して行っている湿原の「かきおこし」により、絶滅危惧種の湿性植物が復活するなど、大きな成果を上げられています。また、広谷湿原を含む平尾台カルストのラムサール条約への登録に向けて環境省や関係自治体に働きかけを行うなど、その自発性と行動力は目をみはるものがあります。

福岡県では、平成25年3月に福岡県生物多様性戦略を策定し、行政や企業、NPOなど多様な主体の連携・協働による自然環境の保全に取り組んでいるところであり、今回の受賞は大変喜ばしい限りです。

今回の受賞を契機に、皆さんの活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
福岡県知事 小川 洋

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

この度、小島プレス工業株式会社の皆様が第16回日本水大賞「経済産業大臣賞」を受賞されましたこと、心からお祝い申し上げます。

今回、小島プレス工業株式会社様は、工場内で使われずにいた水資源を利用した、省スペース・高効率で低価格という小水力発電装置を、名古屋大学と共同で開発されました。新たな資源の導入なしにエネルギーを生み出すことは非常に画期的なことでありますし、また、その高い技術を産官と協力し普及活動する行動にも高い評価が得られたものと思います。

愛知県では本年11月、「持続発展教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」が開催されます。皆様の取り組みは、環境・経済・社会の統合的な発展に資する、まさにESDの目指す方向に合致したものであり、愛知県としても今回の受賞によって同様の取り組みがさらに広がることを期待しております。

最後に、皆様のご尽力に心から敬意を表するとともに、今後の益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
愛知県知事 大村 秀章

祝 辞

第16回日本水大賞「市民活動賞」を受賞された「水のフォーラム」の皆様に、心からお祝い申し上げます。

皆様は、流域の水への理解を深めるため、荒川流域を中心に水の歴史や管理・文化など、水に関わる様々な情報を網羅した機関誌を発行するとともに、水とみどりに関わる専門家による市民講座を開催するなど、市民への啓発活動に努めてられました。

さらに、「市民田んぼ」を開設して、農家や地域の方々と協働による循環型伝統農法での米作りを実践し、これを通じて流域の水ネットワークの保全、地域の環境保全に貢献されております。

今回の受賞は、長年にわたる市民主体の実践的な活動が高く評価されたもので、皆様の御努力に深く敬意を表するものであります。

埼玉県では、「清流の復活」、「安らぎとにぎわいの空間創出」を2本柱として、地域と連携・協働しながら、川の再生の取組を進め、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現を目指しています。

こうした中で、皆様がこのような栄えある賞を受賞されましたことは、大変心強く、また、熱心に活動を続けておられる他の団体にも大いに励みになることと思います。

今回の受賞を契機として、皆様の活動が今後ますます発展し、広くその活動の輪が広がっていくことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
埼玉県知事 上田 清司

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第16回日本水大賞・国際貢献特別賞」を受賞された村瀬誠様、そして「2014日本ストックホルム青少年水大賞・審査部会特別賞」を受賞された静岡理工科大学静岡北高等学校科学部水質班の皆様に、心からお祝い申し上げます。

村瀬様の受賞は、雨水利用活動をバングラデシュで実践し、ビジネスとして発展させたことが、国際貢献として高く評価されました。その志は霊峰富士の如く貴いものであり、大変誇りに思います。

また、静岡北高等学校の皆様は、学校近くの巴川の汚染源を追求し、徳川家康公ゆかりの「浅畑沼」と呼ばれた沼地である「麻機遊水地」の富栄養化の原因物質を除去するシステムを構築されました。今後の実用化に向けて高く評価され、2010年の大賞に続く受賞となりましたことに、心から敬意を表します。

“ふじのくに” 静岡県は、富士山の湧き水や溪谷のせせらぎ、東海道のオアシス浜名湖など、美しい水の恵みがあふれています。清らかで豊かな水資源環境の保全と活用による「水の都」づくりを推進する本県にとって、皆様の活動が、恵み豊かな水環境を次の世代へ受け継いでいく取組となるものと期待しています。

今回の受賞を機に、皆様の御活動がますます発展されることを祈念して、お祝いの言葉とします。

平成26年6月17日
静岡県知事 川勝 平太

祝 辞

「宮城県工業高等学校」の皆様、第16回日本水大賞「未来開拓賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、東日本大震災で経験した深刻なエネルギー不足を契機とし、宮城県で生産できる安全な再生可能エネルギーとして「オイル産生藻類」の研究開発に着手し、広瀬川及び仙台湾の水を利用しての大量培養や、生産効率向上のため新規の「オイル産生藻類」の大量培養にも成功した点などが、復興のために地元資源に着目した先進的な研究として高く評価されたものであり、皆様の着想と御努力に深く敬意を表するものであります。

宮城県においては、「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」等に基づき、震災からの単なる復旧にとどまらない「創造的復興」に向けて、再生可能エネルギー等の導入や省エネルギーの促進に取り組んでいるところです。

こうした中、「宮城県工業高等学校」での第16回日本水大賞「未来開拓賞」の受賞は大変心強く、誠に喜ばしい出来事であります。

今回の受賞を励みに、今後ますます御活躍されることを祈念いたしますとともに、これまで活動を支えてこられた関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
宮城県知事 村井 嘉浩

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第16回日本水大賞「未来開拓賞」を受賞された「京都市立伏見工業高等学校システム工学科水力発電グループ」の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

日々、ものづくりの技術と心を磨いておられる皆様におかれましては、マイクロ水力発電を利用した技術貢献という観点から、様々な課題を抱える中山間地域との連携を図ってこられました。マイクロ水力発電は、地域の資源として、農業や防災・福祉、新しい産業の創出などに役立ち、地域活性化に寄与する未来を見据えた取組であり、ここに深く敬意を表する次第であります。

次代を担う皆様が水分野におけるこのような栄誉ある賞を受けられたことは、水によって産業や文化が育まれてきたこの京都の地において、ものづくりに対する飽くなき向上心が若い世代に培われている証であり、大変心強く感じ、誇りに思います。

京都府といたしましても、安心して暮らせる社会を築いていくため、豊かな自然環境の保全や、安心・安全な治水対策など、水とともに生きていく取組を進めております。

今後とも、京都市立伏見工業高等学校システム工学科の皆様の熱意と探求心による活動が、これからの京都府の未来に新しい流れをもたらすことを心から期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成26年6月17日
京都府知事 山田 啓二

祝 辞

第16回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞された「甲斐駒清流懇話会」の皆様にご心からお祝い申し上げます。

皆様は、過去に大きな災害に見舞われた北杜市白州町、武川町地区を流れる尾白川、大武川等において、長年にわたり地域の防災意識の向上と溪流環境の保全や豊かな自然との共生を推進する活動を行なってきたと伺っております。地域の環境を学びながら砂防施設などを巡る甲斐駒清流ウォークや小学生を対象とした砂防校外授業を行うなど、防災と環境保全の両面に着目した啓発活動を積極的に行い、災害や環境に対する県民の意識を高めることにご尽力いただきました。今回の栄えある受賞は、こうした、地域に密着した活動が高く評価されたものであり深く敬意を表します。

山梨県では「暮らしやすさ日本一の県づくり」の推進に取り組んでおりますが、中でも防災・減災対策の推進においては、大型台風の襲来や局所的豪雨の多発などによる各種災害から住民の生命や財産を守るため、市街地の浸水対策、ハード・ソフト両面にわたる総合的な土砂災害対策に取り組んでおります。皆様の活動が県の施策を後押ししてくださることを大いに期待いたします。

今回の受賞を契機に「甲斐駒清流懇話会」が今後ますます発展することを祈念いたしますとともに、これまでのご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
山梨県知事 横内 正明

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第16回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞された奈良学園中学校・高等学校の皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

皆さんは、約12.8haの広大な校地の中で、その2/3をしめる地域の里山であった山林において活動されています。これまでに雑木林、棚田、小川、湿地、ため池の再生に取り組み、県レッドデータブックの絶滅寸前種や絶滅危惧種9種の生息を確認されています。

今回の受賞は、在校生のみならず、卒業生や地域の子供たちと一緒に持続可能な循環型の新しい人的支援システム（小学生で参加・在校生で活動・卒業生でティーチングアシスタントとして参加）を構築されたことが高く評価されたと伺っており、今後の活動に期待しています。また、この成果を国・県・流域市町村・民間団体等で大和川の清流復活を目指し取り組んでいる大和川清流復活ネットワーク・水辺活動団体交流会で披露いただくことを考えています。

本年11月15日・16日には第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～が、「ゆたかなる森がはぐくむ川と海」をテーマに開催されます。本県には海はありませんが、奈良の豊かな山が、清らかな川を育て、豊かな海を育てます。この大切な水循環と一緒に取り組み未来へ引き継ぎましょう。

今回の受賞を励みに、奈良学園中学校・高等学校の皆さんが今後ますますご活躍されますことをお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
奈良県知事 荒井 正

祝 辞

2014日本ストックホルム青少年水大賞において見事、栄えある「大賞」を受賞されました広島県立広島国泰寺高等学校理数ゼミ物理班の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

皆様は、テッポウウオが水を吹いて空中の昆虫等を捕えることをきっかけに、水面下から加圧によって水面上に水を発射させる「水噴流」に着目し、水面に広がる油等の汚染物質を効率的に除去する方法を考えられました。水噴流という物理現象を利用した水域浄化法の研究として大変ユニークなものであり、湖沼や海湾等の水域における汚染物質の新たな除去方法の開発に寄与することが期待され、今回の受賞に繋がったものと伺っており、心から敬意を表します。

広島国泰寺高校は、一級河川太田川により形成されたデルタ地帯に広がる「水の都ひろしま」の中心部に位置し、川や水が大変身近な存在であることが、この研究の背景にあったのではないのでしょうか。広島県では、川をよりきれいで快適な環境とし、県民に親しまれる魅力あるものとなるよう取り組んでおり、今後このような取組が広がることを期待しております。

最後に、今回の受賞を契機に、皆様の活動が今後ますます発展することを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成26年6月17日
広島県知事 湯崎 英彦